

玉里北小学校・玉里東小学校跡地活用方針(案)

●パブリックコメント集計結果一覧表

1. 意見提出者数

9人

提出方法	人数
郵便	0
ファクシミリ	0
電子申請	6
直接持参	3
合計	9

2. 意見内容及び市の考え方

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
1	玉里東小学校について	<p>玉里東小学校の卒業生です。住民説明会にも参加しました。圧倒的に解体反対の方が多かったです。それを無視して解体ありきの話を進める市役所職員に違和感がありました。調査をして『老朽化の為解体』という言葉がありました。その調査も解体ありきで進めた調査ではないかと思ってしまう。改修、修繕して活用すると言った案はないのでしょうか？費用は税金と言うのも分かっていますが、文部科学省の『みんなの廃校』プロジェクトで補助金を受けられる制度もあります。解体してからでは遅いです。住民説明会は1回しか開催されていません。地元住民ともっと話し合いを重ねるべきです。玉里東小学校地区は小美玉市の中でも一番田舎だと思えます。そして優先順位が一番下になっている気がします。でも住民はこの東小学校を大切に思っています。解体ありきではなく、活用していくにはどうすれば良いか、考えて行きませんか？解体して、更地にして、広場にして地域のみなさんの交流の場にすると考えたいのですが、建物もないところで集まりますか？草が生えて、草刈りに集まるだけじゃないですか？玉里幼稚園の裏にある、玉里ふれあい公園は、住民が集まり、ふれあってますか？遊具でもあれば家族連れが遊びにくるのに、遊具は一つもありません。こんな計画しか出来ないのであれば東小学校が玉里ふれあい公園の二の舞になるのが、目に見えます。(大井戸湖岸公園もあれだけ広く整備したのに遊具がブランコと6歳までが遊ぶ小さな滑り台ぐらしか設置してないありさまです。行方市の沖洲の遊園地ぐらいを想像し、楽しみにしていましたが、残念です。もっと周りの市町村の公園を見習ってほしいものです。)</p> <p>また東小学校は地域の避難所になっています。解体したら避難所が遠くなってしまいますし、他の避難所で人数制限が出て入れない、プライバシーを守れる十分なスペースがないといった事も考えられます。東小学校を残すべきです。東小学校地区は霞ヶ浦に面しており、釣りをしに県外からも来られています。プールを釣り堀に利用したり、東小学校を宿泊出来るようにし、料理も蓮根料理や鯉やワカサギなどの魚料理、行方市のようにナマズを使った料理、小美玉市名産のヨーグルトなど地域特産の食事、お土産を用意する。最近ではキャンプやグランピングも流行っており、校庭にそのような整備や、遊具、アスレチックも整備するなどして、地知名度アップ、地域活性化を計り、大袈裟かもしれませんが、小美玉市の人口増加も出来ると思えます。また、校庭を人工芝にし、サッカーチームなどの練習や、合宿で利用も出来ると思えます。東小学校を残すべきです。残して、活用、地域活性化に役立てるべきです。私のアイデアだけでも上記のように出てきます。もっと住民と話し合いをしましょう。東小地区の今の子供達が大きくなって、この土地に残って、誇りに思えるように、そして次の世代にバトンタッチが出来るように考えて行きましょう。お願いします。簡単に解体と言わないでください。このパブリックコメントが市長まで読むのか、市議会議員までが読むのか、行政経営課行革推進係までが読むのか、市民も読めるのか、ただ形式的に行い、『一応意見は頂きました。』で終わるのか、必ず返答をお願いしたいです。宜しくお願いします。</p>	1	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では、「公共施設建築物系個別施設計画」を策定し、施設の劣化状況等のハード面、利用状況や運営状況等のソフト面、人口推移等の社会情勢や市の財政面等様々な角度から実態と課題を整理しました。その結果、「今後40年間で延床面積30%削減」という数値目標を掲げまして、長期的な視点で更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行い、将来にわたる財政負担の軽減、平準化を図ることといたしました。この「公共施設建築物系個別施設計画」では、玉里北小学校、玉里東小学校の校舎及び体育館等については、建物の劣化状況や安全面の観点など、様々な角度から判断し、「建物の解体」の方向性をお示ししています。</p> <p>ご提案のとおり施設を活用する場合には、安心・安全にご利用いただくために、適切な時期での改修工事を行いながら多額の費用をかけ施設を維持していく必要があります。さらに、改築までしないとしても、不特定多数の方々が利用する施設とした場合には、その後も施設を安全に維持するために、改築の6割程度の費用をかけて長寿命化改修工事等を行う必要があります。施設を安全に維持するための維持補修費が伴いますので、ご意見の趣旨は理解しますものの、本方針へのご理解をお願いいたします。</p> <p>また、本方針は、玉里北小学校、玉里東小学校ともに開校から約140年という歴史や地域の方々の学び舎への想い、地域活動を支える中心的な場であることを踏まえ、跡地を活用する方向性をお示しさせていただきました。今後、具体的に広場として整備していくにあたっては様々なご意見を伺いながら取り組んでいければと考えております。</p> <p>なお、みなさまからご提案いただいた利活用案につきましては、既存の類似施設で、今後も残存する施設の機能により充実を図れるよう検討してまいります。</p>

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
2	計画全般	校庭は災害時使うとなっているが、十分広いので今のままで十分だと思う。校舎、体育館は災害時室内で過ごすという時に必要だと思うので残しといた方が良くと思う。内装を工事して、都市交流施設・道の駅保田小学校／千葉県みたいな道の駅にするべきだと思う。	1	No.1に同じ
3	計画全般	小美玉市では、包括協定を結んで頂いている教育法人や各種法人があります。協定先の法人等に、看護や保育等の現在不足している人材を育成する私立専門学校や再教育学校・大学の施設として利用して頂くのはどうですか？包括協定をもっと積極的に活用し、施設を外部団体に継続的に使用してもらうことを検討して頂きたいです。	1	No.1に同じ
4	計画全般	体育館だけでも残してほしい。	1	No.1に同じ
5	玉里北小学校について	道の駅にリニューアルして、玉里を始め茨城県の特産品などの販売や飲食店、教室を宿泊施設にして茨城観光の集客、茨城空港へアクセスしやすい点など、たくさんの人に利用していただくと良いと思いました。	1	No.1に同じ
6	玉里東小学校について	小美玉市公共施設建築物系個別施設計画について触れてください。 東小学校の歴史的背景・経過について総括してください。 他の自治体の類似事例について検討してください。 地域懇談会及びアンケートを実施して、住民の意見を計画に反映させてください。 先日の説明会では、住民の意見を「聞く」とのことでしたが、今回示された(案)によれば、まさに聞くだけであり、意見を反映させる意思があるとは思えません。 更地にすると、どうやって「地域住民の健康増進と市民の交流促進を図り、子どもたちから高齢者までの多世代が集う交流の広場として活用する。」ことができるのか、説明してください。 以上、整理して出しておいてください。 私が上司なら、絶対に決裁しない(案)です。 他の自治体の同様の課題に対する(案)と比べると、情けなくて悲しくなります。 今後は、他の自治体に対するふるさと納税を増やします。	1	No.1に同じ
7	玉里東小学校について	小学校は、地域住民の共有財産であり、心のよりどころとして存在してきました。この財産を有効で形あるものとして未来に引き継いでいける可能性を、地域住民の知恵を集めて模索していく、このことが基本のスタンスではないかと考えます。その立場から県内外の先進的な事例、たとえば鉾田市の生涯学習館「とくしゅくの杜」などの教訓を学び、地域住民参加のプロジェクトチームを作り、活用方策の案を作成し、提案し、検討していく、そのようなアプローチなしの「跡地利活用方針」(案)として最初から結論ありきの説明会を開いた今回の市の姿勢は民主的な行政手続きを行なったものとは言えないのではないかと考えます。このことに基づき「玉里東小学校校舎を市文化財の学習・展示・保存施設として再活用をはかる」という提案をさせていただきます。玉里には前方後円墳が13基、円墳は85基存在し、県内でも有数の古墳地帯です。開発に伴う埋蔵文化財の調査でもたくさんの出土品が出ております。これらの文化財を常設展示して市民に公開できる場が求められているのではないのでしょうか。また、子どもたちにとって近代100年の庶民の暮らしの著しい変化を学ぶことも欠かせないものではないのでしょうか。失われゆく農業や漁業、生活民具、これらの展示品に触れたり、ワークショップの開催など、生涯学習の格好の施設としてよみがえることを期待してやみません。	1	No.1に同じ

NO	意見の対象箇所	意見内容	意見数	市の考え方(回答)
8	玉里東小学校について	<p>玉里東小学校施設一切の解体案に全面的に賛成する。同郷民にとっては郷愁の残る建造物であるから、なくなることは寂しい限りである。しかし、郷愁のために残しても、多額の維持管理ができるか不明である。残された施設の利用についても、少子高齢化の進行中でどれほどの地域住民が、どれほど利用するか不明である。説明会の時あった意見では、建物を壊した後どうするかの説明に対して、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・壊すということの決定前に住民に説明があっても良かったのではないか 2・調理室は残してほしい 3・災害時の避難場所に一部を残せないか 4・遊び場として利用できる場にしてほしい 5・史料館に保管されている農具、民具などの保管兼展示場にできないか 6・地域コミュニティの活動ために広場を残してほしい 7・シェアハウスにして貸し出しては 8・関係地区民の意見の願いはどこにあるか、懇談会のような会議を立ち上げ意見の集約の場を設置してはどうか <p>以上のような意見があった。今回の説明会をどのようにご判断されるかわかりませんが、解体されるにしても今日、あすのことでもなさそうなので、どのような利用があるか希望調査を行ってみてはどうでしょうか。それにより何をどうすればよいか判断できるのではないのでしょうか。わたしは、利用希望があっても、人口密度からして利用頻度、利用人員の少なさであって、地区公民館もいまや利用価値のない維持負担のみかかる施設として、敬遠されている。学校施設も解体されて困ることはないと思います。玉川地区学習等共用施設があれば充分である。</p>	1	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見のとおり、仮に施設を残存させ利活用する場合、安全性確保のための改修費用や維持するための費用及び管理の手間が、将来に渡って地域の方や次世代への新たな負担となることが懸念されます。 今後、具体的に広場として整備していくにあたっては様々なご意見を伺いながら取り組んでいければと考えております。</p>
9	計画全般	<p>【提案】 太陽光発電のPPA事業を導入し、エネルギー地産基地およびSDGs啓発スポットとして活用する。 【説明】 広報誌SDGs特集の受賞おめでとうございます。これからはその実行が問われることとなります。その一つの案として、小学校跡地を活用することを考えました。 交流スペースは既に各所にありますので、実質的にはほとんど「空き地」扱いと感じました。しかし何かを整備する予算も無いでしょうし、予算を投じてにもぎわいには至らないと思います。身の丈に応じた案は無いかと思案した結果、投資が不要なPPA事業の活用だろうと。太陽光発電は景観や安全性への抵抗感が先行しており残念ですが、本来は地産地消性の優れたエネルギー源です。東日本大震災での原発事故の恐怖は脳裏に新しく、またウクライナでの原発占拠は世界を震撼させました。原発は本質的に超ハイリスクであり、従来の集中型大規模発電送電システムの弱点も露呈しています。さらにエネルギー源の偏在が地政学的リスクを高める大きな原因とも考えられています。つまり発電の理想形は、分散型、地産地消型であることへの理解が浸透しつつあると考えます。 (参考) https://www.iseip.or.jp/event/13658 そういった中で、例えば大湊村ではエネルギー地産地消の取り組みを始めています。 (参考) https://www.vill.ogata.akita.jp/shizen-energie/pdf/shizen-energie_model_20210218.pdf PPA事業であれば、予算も投資コストもほぼ不要で実行できます。また太陽光発電事業であれば、今なら応募してくれる事業者もあるだろうと考えます。契約内容によっては、役所の光熱費削減も見込めるかもしれませんが、BCPに沿えるかもしれません。ただし先日の“電力需給ひっ迫警報”時に太陽光発電できない天候が問題となったので、蓄電機能も必須でしょう。また地域住民へのSDGs啓発スポットとして、学校跡地にふさわしい学習の場に生まれ変わってほしい。地産地消エネルギーとして現実的に最も有効なのが太陽光発電であり、イメージの払しょくにもつなげたい。以上、よろしく願いいたします。</p>	1	<p>SDGsの観点から、貴重なご意見ありがとうございます。 本市におきましても、SDGsの重要性は十分理解しており、その普及活動も非常に重要であると捉えておりますが、本方針案では、玉里北小学校、玉里東小学校ともに地域住民の健康増進と市民の交流促進を図るための広場として、また、災害時には避難場所として活用することを方向性として示しており、太陽光発電のPPA事業を導入した場合、広場や避難場所として活用することは困難となることが予想されます。 ご意見いただきましたSDGs啓発スポットにつきましては、今後具体的に広場として整備していくにあたっての一つのご提案として検討してまいります。</p>
合計			9	